

事務事業名	「夢」発見プログラム推進事業	所属部	教育委員会	所属課	学校教育課
政策名	(IV)ふるさとを学び育つまち<教育・文化>	所属G	義務教育G	課長名	佐藤慎治
施策名	(27)学校教育の充実	担当者名	伊藤 慶	電話番号	0854-40-1072
目的	対象 小学校の児童・中学校の生徒 意図 基礎基本(知・徳・体)の発達を促し、生き抜く力を身につける。	予算科目	会計 款 大事業 大事業名	(内線)	2281
基本事業名	(081)すべての子どもにわかりやすい授業づくりの推進	0 1 5 0 0 3	教育推進事業		
目的	対象 児童・生徒 意図 ユニバーサルデザイン授業を推進する。	0 5 1 0 0 5	中事業名	「夢」発見プログラム事業	

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (22年度～)
② 事業内容	(期間限定複数年度事業は全体像を記述)
「夢」発見プログラムの推進に係る学校支援及び児童生徒のキャリア形成を図る事業の推進。	

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	27年度実績(27年度に行った主な活動)	28年度計画(28年度に計画する主な活動)			
	② 活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
ア	研修会の開催	回	1	1	1	1
イ	キャリア教育講演会の開催	回	3	3	3	3
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)	
	児童・生徒	ア	児童・生徒	人	3,135	3,064	2,996	2,947
		イ						
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)		
郷土出身者による研修やふるさと学習を通じて、ふるさとへの愛着や誇りをもってもらう。	ア	ふるさとが好きな子どもの割合	%	小 94.2 中 85.6	小 94.6 中 86.9	小 92.7 中 87.7	小 95.0 中 95.0	
	イ							
	ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (27年度決算)	② コストの推移	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(計画)
●報償費 385千円 ●需用費 114千円 ●賃借料(バス) 556千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円	1,192	1,559	1,000
	一般財源	千円			55	
	事業費計(A)	千円	1,192	1,559	1,055	1,400
	人件費	正規職員従事人数	人		8	4
延べ業務時間		時間		416	600	
人件費計(B)		千円		1,617	2,348	
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,192	3,176	3,403		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
第2次雲南市教育基本計画(H22年度～)において、ふるさと教育を『夢』発見プログラムの根底に位置付け、一層の推進を図ることとした。	H25年度からは、県モデル事業も活用しつつ、高校まで一貫した取り組みとしてさらなる推進を図るため、高校版の「夢」発見プログラムを策定。	ふるさと教育推進に係る県の事業費が減少するなか、本事業に対する学校からの期待は大きい。また、ふるさと教育を通じて、地域資源の再確認に繋がるとともに、学校・地域の連携が深まっているという地域からの声がある。

事務事業名	「夢」発見プログラム推進事業	所属部	教育委員会	所属課	学校教育課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	* 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	* 余地がある場合⇒	
	③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	* 余地がある場合⇒	
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由	現状値が非常に高い数値であり、向上余地は限りなく少ないと考えるが、この数値を維持していくことが大切である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		
	<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由	ふるさとへの愛着や誇りを醸成するための根幹を担う事業が中止になることは、子どもたち自身の成長はもとより、将来的なまちづくりの担い手の育成という観点からも大きな影響がある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある	<input checked="" type="checkbox"/> ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	理由	市単独事業としては、他の類似事業はない。	
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由	大部分が児童・生徒の輸送費である。また、ふるさと出身者の協力に対する必要最小限の経費により実施しており、同様の成果を維持しつつ事業費を削減することは、現時点では考えられない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由	「夢」発見プログラムの推進に向けた基本的な研修や予算執行(学校バス代等)にかかる必要最小限の業務であり、削減余地は考えられない。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由	市内のすべての児童・生徒(学校)に対する事業であり、公平・公正である。

評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果	② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	高校版の策定により、保幼小中高まで繋がったキャリア教育を実現する基盤を整えることができた。 また、研修会などの各種取り組みを適切に実施することができた。

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。  コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				
引き続きふるさと学習を推進するとともに、「夢」発見プログラムに対する教職員の理解を深めながら、他の事業との連携を図りながら、さらに魅力あるプログラムとするための取り組みを展開する。																								